

No.60
熊
広
報

平成29年12月15日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
熊地区長 伊藤 誠
公民館長 鈴木 眞二

第二十二回熊地区文化展
熊地区長 伊藤 誠

熊地区文化展を11月4・5日の二日間にわたり開催することができました。一日目に、短い時間ですが突然な雨に降られました。天気に恵まれ、両日で五百人近くの地区や熊地区以外の方々に来ていただきました。

当日、刈谷市長の竹中良則様をはじめ、国会・県議会・市議会の議員の方々、又泉田・西部・中部地区の役員様、織機ボランティアセンターの方も来館頂き熊地区の作品を十分に楽しんでいただきました。

二階では成瀬さん作、自慢の盆栽が出迎え、右壁には、たくさんの写真、今年は数人の新しい作品も加えられ、賑やかになりました。絵画は少ないですが見ごたえのある作品ばかりです。

「熊さん」の一関ばりは全作品が和紙の継ぎ目がわからない見事さでした。



今年も多くの作品を出品された皆様、並びに関係各位と、大勢の来館者が支えて下さいました。今後も文化展が発展することを願っています。

一階ではかきつばた会の呈茶で、小学生の初々しいおもてなしがよかったです。和室では若葉会の生け花があり、屋外では竹燈りの会の中万燈「加藤清正の虎退治」がお出迎え。婦人会のこうばしい香りが漂う団子の販売があり、刈谷市赤十字奉仕団と熊なでしこ会の豚汁、柿、コーヒートの接待。熊宮農組合による野菜の直販、趣味の会の手芸作品の販売、竹鉄砲、竹笛子供に人気のバルーンアートがありました。

書はいずれも個性がでている作品ばかりでした。子ども会のポスターと習字は小一から中三までががんばってくれました。婦人会のビーズアクセサリー、手芸、陶芸、デイスリーブスこだまの手芸作品等の力作。小さな生け花がほっとした気分にならせてくれました。

熊地区文化展を終えて
若葉会 深谷 実千代

熊地区文化展は日ごろの成果を発表できる良い機会として取り組んでいます。初めはいつもと違う花材に手が出ませんでした。回を重ねるうちに、皆ほとんどと作品づくりを楽しみ、のびのびと生けられるようになりました。



花を生ける皆さん

二階には、皆で力をあわせての合同作品も飾らせていた。充実しただき、充実した楽しい時間を過ごすことができました。

若葉会は、池坊の杉浦則子先生にご指導をいただき、第一・第二の月曜日にお稽古をしています。心を込めて向き合い生けた季節の花は、暮らしを豊かにしてくれます。子どもたちにもこの感性を感じて欲しくて、文化展の折に花を生けてもらい、喜んでいただきました。

ぜひ、皆様も私たちと一緒に生け花を楽しみませんか。ご参加をお待ちしております。

バルーンアート会
代表 藤田 政夫

町の風船おじさんです。顔も心も優しいおじさんです。風船で色々な、動物を作り、皆様に楽しさを提供しています。



刈谷市の保育園から小学校・高齢者のデイサービス・各地域のイベントに至るまで、年間30件位の要請があり参加しています。

たかが風船。でも、そこに色々な人生を感じます。幼児にはその場で動物を作り喜びを感じてもらい、小学生には体験学習で物づくりに関心を持ってもらいます。高齢な方は、体験をする事で認知症の予防にもなります。

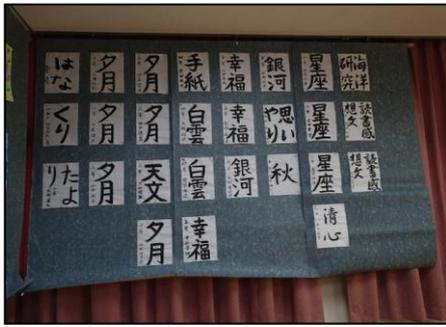
私たちは、皆様からの笑顔をいただき、町の活性化に役立てる場として、また自分自身の活力になればと思っています。

これから、これからも、くお願います。



犬や剣のバルーンアート

作品介绍



子ども会

「お抹茶運びを体験して」

六年 孝子 遥香

私は、文化展のお抹茶出しの手伝いをさせてもらいました。お抹茶の上手な運び方を教えてもらい、こぼさずに運べました。来てくれた人が「ありがとう」と言ってくれた時はとてもうれしかったです。

私の家族や、習字の先生なども来てくれました。お茶席にかざる小さい生け花を活けさせてもらったりして、お抹茶運びでいろいろな経験ができました。ふだんあまりやれないことができたので、とても楽しかったです。



「試合に負けた、内容的にも…」
すもう大会に参加して
六年 鈴木 幸陽

まず、題に疑問を持つと思います。こういうことです。初戦では、相手のくり出す技に、あつちの端っこ、こつちの端っこと、けつこう動きました。結果だけ見れば「勝ち！」でしたが、内容を見ると、「負け」です。2戦目は、相手の下手投げで、開始4秒で負けました。まさに惨敗。大会全体の事としては、Aチームが団体の優勝し、個人では3つ賞をとり、十分の結果でした。

婦人会たより

婦人会広報長 鳥居 幸枝

文化展恒例の「みたらし団子屋さん」。地域の皆様に喜んでいただけるよう上手に焼くことを心掛けました。徐々に手際よく焼けるようになった頃の一日目の突如の大雨には驚きました。二日目は少し風がありましたが、館長さんの風よけ対策で順調に進み、二日間で二千本が売れました。

今年の出品は、ビーズアクセサリー。加納先生のご指導のもと、細かいビーズに悪戦苦闘しつつ、完成を楽しみながらの作品作りでした。ご指導の甲斐あり、皆さんの素敵なアクセサリーが展示できました。大変ご苦労が多い地域の役員の方々、またご協力してくださる地域の優しい皆様のおかげで、婦人会が成立していることを今度も痛感致しました。有り難うございました。



笑顔いっぱいの団子屋さん！



始めて作ったアクセサリー等々…

熊地区文化展を終えて

熊公民館長 鈴木 眞二

秋気深まってきました十一月四・五日の二日にわたり、熊地区恒例の文化展を賑やかに開催いたしました。

開催初日の午前中に急な俄雨に見舞われました。市民館外での催し物でのご来場は雨宿り状態となり一時は混乱しました。二十分程で雨も上がり、その後多くの皆様方にご来場いただきました。又、展示作品も百五十五点の出品を頂きありがとうございます。

本年度は、写真の出展数が多く、市民



おられまされた。作品の出展、展示の

示に、又、運営にご尽力を頂きました関係者のご協力により無事終えることが出来ましたことを厚くお礼申し上げます。

熊老壮会だより

熊老壮会広報 林 吉良

親睦二泊二日バス旅行

十一月十九〜二十日、会員36名、皆な旅慣れた猛者揃い。晩秋、紅葉の旅を楽しんできました。

冷え込んだ早朝七時三十分に出発し、一路山陰方面。

紅葉の名所、奥津深は、雪ともみじの絶妙なグラデーション。山道の積雪を踏みしめ慎重な運転で早めに三朝温泉、三朝館へ。ゆったり、のんびり湯に浸かり体を休め、歌って踊つての大宴会で会員の親睦を一層深めました。

二日目は、白兔神社、鳥取砂丘でラクダを見て「月の砂漠」の歌詞を思い出しながら散策しました。

平均年齢 76歳。伊勢湾岸道、新東名、名神と往復八百キロ越えには疲れましたが、楽しい旅行ができました。

参加された皆様に感謝申し上げます。

みなさん 六十歳になったら

老壮会に入会して

一緒に旅を楽しみませんか！



三朝温泉 三朝館前にて

熊野神社だより

熊野神社氏子総代会会長 加藤 三樹

○秋の大祭を終えて

十月八日秋晴れの中、厄年十一名に無事に秋の大祭を終えることができました。地域の皆様方には心よりお礼申し上げます。厄払い式では宮司様より「厄年とはいろいろな役割に就く年、人のお



役に立つ年である」と教えて頂きました。年齢とともに社会的責任も増してくる中、家族は勿論の事、お世話になっている人々や地域にも「貢献できる人」になつてまいります。

餅投げには多くの皆様にご参加頂きありがとうございます。地域の安全とご参加頂いた方々のご多幸を祈念しながら投げさせて頂きました。今後ともメンバー一同、頂いた恩をお返し出来るよう努めて参ります。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(熊辰巳会 代表 近藤 智行)

○初詣は熊野神社にご家族揃つて是非お越しください。お待ちしております。年末年始には巫女さんの舞があります。

江戸末期の土場 渡船場

熊郷土史研究会 三浦 洋治

逢妻川左岸は海(河)岸段丘となっており、昔には衣ヶ浦が泉田辺りまで入り組んでいた。泉田は中世後期頃まで逢妻川の船運の拠点となっていて、八王子神社の下まで船が着いたといわれている。

中山の土場は新明社の下にあつて、瓦・米・麦・大豆などが積み出され、肥料や瓦を焼く割り木(薪)が荷揚げされた。六十年前前には瓦を焼いた窯が残っているのを見たことがあるが、昔の名残りのものではなかったか……

興味深い中の一つは安養寺が天台宗であつた事。その頃大府の延命寺との間で行き来した船着き場があり、また、今で言う情報手段として手旗を用いていたの言い伝えもある。

もう一つは刈谷藩士の子として安永二年(一七七三)熊村に生まれた俳人「中島秋挙」。彼は小垣江に庵を結び多くの俳句を残した。市原稻荷神社の境内の外れにある句碑には「夜渡しの 今に声あり華さかり」の句が刻まれている。当時から夜桜見物が行われていたようで、対岸の東浦からも多くの人が来て賑わっていたことが分かる。

小垣江の北浦・半崎土場(巡見橋の西)に渡し場があり楞巖寺や崇福寺へ船が出ていたと言われる。刈谷豊田総合病院と崇福寺との間にも船着き場があつたと言われる。

熊地区防災会より
自主防災会副会長 近藤 輝和

○豊田自動織機さんからの支援
先日の文化展でふるまわれたアルファ米は織機さんからいただいたものです(三百食分)。

また、来年の春には、待望の防災倉庫が設置されます。その倉庫に入れる防災備品の購入費として、十万円を寄付をいただきました。

○「熊地区防災のお知らせ」

平成28年11月15日に第1号を発行してから丸一年。今年の12月に13号を発行することができました。

今後とも継続して発行していけたらと考えています。防災ファイルに保存し、有効に活用して下さい。

○第一回三町合同避難訓練

自動織機グラウンドをお借りして訓練を実施しましたところ、大勢の地区の皆さんに参加して頂きました。

「隣近所の住民で助け合おう」

特に高齢者や障がいのある方たちの安否確認を重点にしての訓練にご協力いただきありがとうございます。

地区委員、班長、組長補佐、第四分団、安全パトロール隊の皆さんに感謝申し上げます。

青少年育成市民運動
地域推進員 高橋 博良

刈谷市は、次の世代を担う青少年の健全な育成を推進するため、青少年育成市民運動地域推進員を定め、この運動の中心的役割を果たしていくことを推進員に期待しています。

このための具体的活動として、つぎの内容で活動を行っています。

○中学校および小学校訪問による生徒・児童の学校生活の把握

○地区行事や刈谷駅、アピタ刈谷店での青少年育成啓発用品配布

○中学校区の生活指導懇談会に出席

○青少年育成推進員研修会に参加

○家庭教育啓発講演会開催

○私の提案

子供たちを、やさしく見守り、声かけあいさつ、大人から

刈谷市スポーツ推進委員

東 義和

推進委員を任命されて、早、2年目を迎えました。

私たちスポーツ推進委員は、愛知県及び西三河の「スポーツ推進委員実技研修会」や「AED 研修会」に参加し、各イベントのお手伝いをするために、スキルを向上するよう努力しています。

「めざせ！一市民、一スポーツ」をモットーに、明るく・楽しく・元気良くスポーツすることを推進しています。

また、多くの方々に安全・安心にスポーツを楽しみ、健康を維持して頂きたいと思えます。

安全パトロール隊
隊長 伊熊 勝彦

油断大敵！

常日頃、安全・安心な町づくりにご協力をいただき、感謝を申し上げます。

さて、四月より八月末迄に、八幡町で五件・宝町で三件の「侵入盗」が発生しましたが、幸いその後発生しておりません。皆様の普段の対応が効を奏しているものと思われませんが、ここで油断は大敵です。盗人は必ず時期をおい

て同じ地区・同じ家を狙ってきます。

自分の家は自分で守る

我々の地域は我々で守る
この気持ちを強く持つて引き続き対応をお願いします。

連絡先

伊熊 勝彦 TEL 0566-24-0309

熊なでしこ会

代表 藤田 政夫

今年も秋到来。

そして地域の文化の交流の文化展です。なでしこ会は、今年も赤十字奉仕団と一緒に炊き出しの豚汁と呈茶(ヒー・お茶)、デザート柿で来客とスタッフの多くの方々に、真心と笑顔でおもてなしをしました。

多くの方々に「ありがとう」の言葉を頂き、これからも地域の方々から慕われる様に努力して行きます。

また、なでしこ会のスタッフを募集していますので是非入会して下さい。

刈谷市消防団第四分団より
分団長 磯村 尚樹

はじめに、日々の消防団活動に於きまして地区の皆様が多なるご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

十月二十二日は台風の影響で、出動しました。幸い熊地区は何事もなく無事だったので一安心しました。

十月二十九日は秋季訓練があり、主な内容は、ポンプ車の運転訓練でした。午後は二十一日同様台風の影響で出動しました。

我々第四分団は、年中団員を募集しています。男女問わず年齢は十八歳以上の方を募集しています。

最後に、空気の乾燥している時期です。火の元には十分に注意してください。

熊公民館からのお知らせ

マリンバ演奏会

演奏者：近藤幹夫

他二名

日時：平成三十年 一月二十七日(土)

十一時 開演

場 所：熊市民館 二階集会場

(十時三十分 開場) 予定

☆入場無料

駐車場：市寺横駐車場

(熊市民館南側)

一時間無料

その後 百円/時間

